

御神勅にある如く天皇統治の國である吾々は天皇の一部であり君臣は父子の如く一体の概念である。共產黨の全体的個人主義ではいけない。滿洲の發展も世界平和も天皇統治の原則によつてこそ可能である。

貴族院議員 陸軍中將 野村 武 夫

王政復古に際してペルリ等の來航により歐米の色々な事に刺戟され彼の長を取り我が短を補ふことに努力したが爲大文明國に列したのであるが、何もかも模倣みにした結果學問上にも影響し、經濟、法律、政治に於て翻譯が多い。明治四十年この方國體概念が忘れられた、偉い學者、政治家、全指導者がこの弊に陥つた爲である。憲法御制定の際伊藤公に歐州の情勢を見せられこれに基づいて作られたものであるが、それに先立ち明治十五年軍人に賜つた勅諭には國體を明らかにさ

れてゐる憲法も外國と根本を異にする御精神により作られたものである之を西洋流に解釋する事は國家を毒する者である伊藤公の案による皇帝を天皇と御訂正になり又貴衆兩院に上奏權を與へられる等逐條的に御研究遊ばされた由である。軍臣が西洋にかぶれたのを明治大帝が御戒めになつた事と信ずる。最近歐米各國はドイツをベルサイユ條約で處めたと同様にワシントン、ロンドン條約で日本を處めた、ドイツと同様必ず日本を壓迫するに相違ない、國難は去つたのではない、過去に於て大權を壟斷した時必ず事が起つてゐる。而し總ては日本精神に立脚へるだけで解決する。日本精神を持つ政治家によつて其の根本を直す事が出来るのである。

○祝電披露

皇道義盟本部。 美濃部學說撲滅聯盟